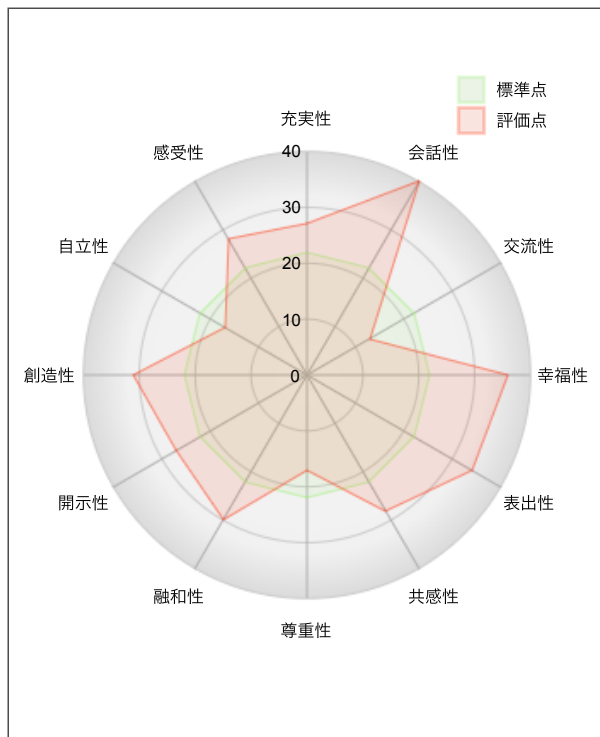


Analysis of Communication Structure

印刷 グラフ 解説1 解説2 トップ画面

名前 M.N 様



充実性	会話性	交流性	幸福感	表出性	共感性
27	40	13	36	34	28
尊重性	融和性	開示性	創造性	自立性	感受性
17	30	27	31	17	28

コミュニケーション構造の分析

	100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100		
個人型																							交流型
理論型																							感情型
保守型																							発展型
独立型																							調和型
不充足																							充足

【個人型か、交流型か】 一人の世界を好む個人型か、多くの人との交流を求める交流型か

弱い交流型です

他人と交流することも楽しいのですが、一人でいることも楽しいと感じるタイプです。そのため、友人を増やすことに、それほど積極的ではありません。その代わりに、一人の時間を楽しむことができます。友人も多く、一人の時間も楽しめるというバランスのとれた状態です。無理をすることなく、自然体のままで、あなたらしい豊かな世界を育てましょう。

交流型
45

【理論型か、感情型か】 理性的な理解が優勢な理論型か、感情の交流が優勢な感情型か

弱い感情型です

他人との感情交流がしっかりとでき、親しい人間関係をつくりやすいタイプです。ただ、理性的な面も強いので、自分の思いに合わない人を受け入れない傾向があります。そのため、交流の範囲が限定されることになります。少し頑固なところがあることを意識してください。時には、自分の頑固さを反省して、他人を素直に受け入れる努力をしてみましょう。そうすれば、さらに豊かな人間関係を作ることができるでしょう。

感情型
43.8

【保守型か、発展型か】 自分の世界をそのまま保とうとする保守型か、変化させ拡大しようとする発展型か

弱い発展型です

自分の世界に多くのものを取り入れようとする姿勢はありますが、自分の世界を大切にしたいという気持ちも強く、多くの人の世界を自分の中に取り込むことにためらいがあります。そのため、他人との交流は少し限定されます。自分の世界をより充実させるためには、ある程度のこだわりが必要です。自分なりの豊かな世界を作り上げることを目指せば、周りとの関係は必要に応じてできてきます。

発展型
41.7

【独立型か、調和型か】 自分の思いを貫こうとする独立型か、周囲の人たちとの調和を重視する調和型か

弱い独立型です

独立型
20

自分の思いがしっかりとあるために、自己主張したいという気持ちが強いタイプです。そのため、他人と協調しようとする気持ちが薄く、周囲の人たちと衝突することが起こってきます。自分を優先したいという気持ちを大切にしながら、周りトラブルを起こさない道を見つけるように心がけましょう。それによって、周りとの調和を保つことができます。

【充足度】 現在の自分の在り方に、どれほど充足感を持っているか

少し充足感の薄い状態です

自分の持っている力を十分に生かしてきていないようです。自分の個性をしっかりと把握して、自分らしい生き方を見つけ、自分の中にある力を十分に発揮して、生きがいのある人生を開いていきましょう。

充足
35